

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

傍流に行くことで知の探索につながる

入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール教授)

1. 経営者の観点から見た場合、ソニーの復活はどのように論じることができるか。経営危機に陥っていた、2012 年、社長に就任した平井一夫氏は、現在の業績改善を見ればそれは間違っていなかったし、平井氏は名経営者として名を残して、今年 6 月に第一線から退いた。平井氏が行ったことの最大のポイントは「知の探索」を取り戻したことにある。知の探索とは人が認知できる範囲を超えて、遠くに認知を広げていく行為のことだ。企業がイノベーションを引き起こす源泉である。
2. 同時に「知の深化」も進めた。探索の結果や既存事業の中から成功しそうなものを見極めて深掘りし、磨き上げていく作業のことを知の深化と呼ぶ。深化があるからこそ、企業は安定して質の高い製品やサービスを提供したり、収益化を果たしたりすることができる。この探索と深化をバランスよく行うことを「両利きの経営」という。両利きの経営を行うことが、イノベーションを起こしながら企業が持続的に成長するカギになる。
3. 経営者に最も必要とされる能力は、未来を見据えて意思決定をする力に尽きる。トップになるまでにいかに多くの意思決定を繰り返せるかが、優秀な経営者になれるかどうかの条件だ。そのため経営者となるべき人材は、若い段階で会社の中核にいてはいけない。どんどん僻地の子会社に送り出し、島流しにしたほうが良い。傍流に行くことは、行った人自身の知の検索にもつながる。

(参考:「週刊東洋経済」2019 年 7 月 6 日号)

管理者への活きた言葉

現場で何が起きているのかを知る

ヘンリー・ミンツバーグ (カナダ・マギル大学デソーテル経営大学院教授)

1. 私は聞き上手であることが良いマネジャーの重要な資質だと思っています。また、マネジャーに必要なものは、履行能力、賢さ。創造的である必要はないものの、創造性をすぐに見抜く力。エネルギーかどうか。仲間がいなかったら何もできません。人が嫌いなのは最悪です。それから事業を熟知している必要がある。
2. 管理職は何に対して情熱を示すべきですが、素晴らしい製品やサービス、熱心な従業員、強い企業文化に対してです。1980 年代、日本はそれらを持っていました。松下幸之助はすべての人に安価な家電製品をという経営理念に情熱を注いでいました。また、細かいことにまで関わることです。現場に関わって、現場で何が起きているのかを知る必要があります。

(参考:「日経ビジネス」: 2019 年 7 月 22 日号)

人事・労務について

自助努力の重要性

数士 文夫 (JFEホールディングス名誉顧問)

1. 今後本格化していく人生 100 年時代においては、一人ひとりが他に依存せず、自力を尽くして物事を成り遂げていく精神が一層求められてきます。明治の新時代に、サミュエル・スマイルズの「セルフ・ヘルプ」を翻訳した中村正直の「西国立志編」は、日本人の精神を大いに奮い立たせました。
2. 同書では、自助努力の重要性を次のように説いています、「自助の精神は、人間が真の成長を遂げるための礎^{いしずえ}である。自助の精神が多くの人々の生活に根づくなら、それは活力にあふれた強い国家を築く原動力ともなるだろう。外部からの援助は人間を弱くする。自分で自分を助けようとする精神こそ、その人間をいつまでも励まし、元気づける」。

(参考:「致知」2019 年 9 月号)

古典に学ぶ

覚悟が必要 (金銭問題)

(解説) 覚悟を新たにするに、特に注意すべきは金銭の問題である。昔でさえ恒産無くして恒心を保つことは出来ぬと言われた位であるから、活気ある世務に処する程金銭問題に関して充分の覚悟が無くては、意外の失敗を演じ過失に陥ることがないとは限らぬ。

(参考: 洪沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)